



2027年3月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2026年8月3日

上場取引所 東

上場会社名 エーザイ株式会社

コード番号 4523 URL <https://www.eisai.co.jp>

代表者 (役職名) 代表執行役CEO

(氏名) 内藤 晴夫

問合せ先責任者 (役職名) 執行役 コーポレートコミュニケーション担当

(氏名) 真坂 晃之

TEL 03-3817-5120

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無：有

決算説明会開催の有無：有

(百万円未満四捨五入)

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績(2026年4月1日～2026年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前四半期利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	234,330	15.6	24,728	19.2	25,283	12.8	19,151	24.9	18,242	26.0	31,177	181.7
2026年3月期第1四半期	202,651	7.2	20,744	54.7	22,404	40.3	15,337	33.2	14,474	36.8	11,067	△79.0

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	64.71	—
2026年3月期第1四半期	51.35	—

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率	1株当たり親会社 所有者帰属持分
	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
2027年3月期第1四半期	1,558,091	933,169	906,564	58.2	3,216.02
2026年3月期	1,449,113	925,124	898,992	62.0	3,189.15

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	80.00	—	80.00	160.00
2027年3月期	—				
2027年3月期(予想)		80.00	—	80.00	160.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2027年3月期の連結業績予想(2026年4月1日～2027年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	883,500	7.0	70,000	58.6	74,000	45.1	54,000	33.3	52,300	35.6	185.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRS会計基準により要求される会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2027年3月期1Q	291,649,149株	2026年3月期	291,649,149株
② 期末自己株式数	2027年3月期1Q	9,190,146株	2026年3月期	9,535,293株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2027年3月期1Q	281,890,450株	2026年3月期1Q	281,887,947株

信託として保有する当社株式568,840株は、期末自己株式数に含めていませんが、期中平均株式数には、基本的1株当たり四半期利益の算定において控除する自己株式として含めています。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本発表において提供される資料ならびに情報は、本資料発表日時点における予想、目標、評価、見通し、リスクを伴う想定などの不確実性に基づくものを含んでいます。従って、さまざまな要因の変化により、将来予想などが実際の結果と大きく乖離する可能性があります。予想数値、予想の前提条件その他に関する事項については、6ページをご参照ください。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法)

決算補足説明資料は、決算短信に添付しています。また、2026年8月3日(月)に機関投資家・アナリスト向けに決算説明会を開催する予定です。この説明会の資料等については、当社コーポレートサイトに掲載します。

【添付資料】

添付資料の目次

	(ページ)
1. 当四半期決算に関する定性的情報	
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 研究開発・提携などに関する説明	4
(4) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	6
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	
(1) 要約四半期連結損益計算書	7
(2) 要約四半期連結包括利益計算書	8
(3) 要約四半期連結財政状態計算書	9
(4) 要約四半期連結持分変動計算書	11
(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	13
(6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	
(継続企業の前提に関する注記)	14
(会計方針の変更)	14
(セグメント情報)	15
(連結損益計算書)	16
(連結キャッシュ・フロー計算書)	16
(重要な後発事象)	16

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

[売上収益、利益の状況]

- 当第1四半期連結累計期間(2026年4月1日～2026年6月30日)の連結業績は、次のとおりです。

(単位:億円、%)

	2025年度 第1四半期	2026年度 第1四半期	増減率
売上収益	2,027	2,343	+15.6%
売上原価	426	511	+19.9%
売上総利益	1,601	1,832	+14.5%
販売費及び一般管理費	1,002	1,148	+14.6%
研究開発費	388	437	+12.7%
営業利益	207	247	+19.2%
税引前四半期利益	224	253	+12.8%
四半期利益	153	192	+24.9%
親会社の所有者に帰属する四半期利益	145	182	+26.0%
(参考情報) コア営業利益	217	247	+13.9%

注) コア営業利益: 営業利益から一過性の収益・費用を除外した本質的な収益性を示す指標

調整内容は、参考資料2ページをご覧ください。

- 売上収益は、抗がん剤「レンビマ」、アルツハイマー病(AD)治療剤「レケンビ」および不眠症治療剤「デエビゴ」が引き続き伸長したことに加え、円安の進行の影響により、大幅な増収となりました。医薬品事業の売上収益は2,309億円(前年同期比16.4%増)となりました。
- 主要品目の売上収益は、「レンビマ」が973億円(前年同期比15.9%増)、「レケンビ」が293億円(同26.7%増)、「デエビゴ」が189億円(同37.9%増)といずれも大幅に伸長しました。
- 販売費及び一般管理費は、「レンビマ」の売上収益拡大に伴うMerck & Co., Inc., Rahway, NJ, USA(以下 米メルク社)への折半利益の支払いや「レケンビ」への積極的な資源投入により、増加となりました。
- 研究開発費は、「レケンビ」や抗MTBRタウ抗体「E2814」、新規選択的オレキシン2受容体作動薬「E2086」などの重要プロジェクトへの積極的な資源投入を継続したことにより、増加となりました。
- 営業利益は、前年同期に中国で代理店が在庫を積み増した影響を主要品目の伸長により吸収し、大幅な増益となりました。本質的な収益性を示すコア営業利益は247億円(前年同期比13.9%増)となりました。

[セグメントの状況]

(各セグメントの売上収益は外部顧客に対するものです)

当社グループは、セグメントを医薬品事業とその他事業に区分しており、医薬品事業を構成する日本、アメリカス(北米)、中国、EMEA(欧州、中東、アフリカ、ロシア、オセアニア)、イーストアジア・グローバルサウス(韓国、台湾、インド、アセアン、中南米、南アフリカ等)の5つの事業セグメントを報告セグメントとしています。

＜日本医薬品事業＞

- 売上収益は579億円（前年同期比3.4%増）、セグメント利益は210億円（同8.1%増）となりました。売上収益の主な内訳は、医療用医薬品が527億円（同4.1%増）、一般用医薬品等が52億円（同3.5%減）でした。
- 品目別売上収益については、「デエビゴ」が124億円（前年同期比13.4%増）、「レケンビ」は61億円（同10.9%増）と大幅に伸長しました。「レンビマ」は37億円（同3.0%増）と伸長しました。ヤヌスキナーゼ阻害剤「ジセレカ」は54億円（同25.2%増）、慢性便秘症治療剤「モビコール」は30億円（同48.3%増）、慢性便秘症治療剤「グーフイス」は26億円（同18.2%増）と大幅に伸長しました。抗てんかん剤「フィコンパ」は22億円（同5.8%増）と伸長しました。一般用医薬品等では、チョコラBBグループの売上収益が39億円（同1.1%増）と伸長しました。

＜アメリカス医薬品事業＞

- 売上収益は866億円（前年同期比22.3%増）、セグメント利益は519億円（同25.0%増）となりました。
- 品目別売上収益については、「レンビマ」が665億円（前年同期比14.5%増）、「レケンビ」が155億円（同70.5%増）、「デエビゴ」が33億円（同74.5%増）と大幅に伸長しました。

＜中国医薬品事業＞

- 売上収益は425億円（前年同期比16.6%増）、セグメント利益は212億円（同18.2%増）となりました。
- 品目別売上収益については、「レンビマ」は68億円（前年同期比0.9%減）となりました。「レケンビ」は前年同期に代理店が在庫を積み増した影響の反動により、48億円（同37.3%減）となりました。「デエビゴ」は14億円（前年同期は1億円）となりました。めまい・平衡障害治療剤「メスロン」は51億円（前年同期比67.1%増）、末梢性神経障害治療剤「メチコバル」は37億円（同27.7%増）と大幅に伸長しました。

＜EMEA医薬品事業＞

- 売上収益は236億円（前年同期比24.4%増）、セグメント利益は125億円（同51.8%増）となりました。
- 品目別売上収益については、「レンビマ／Kisplyx」が151億円（前年同期比36.6%増）、「レケンビ」は5億円（同341.2%増）、「フィコンパ」が48億円（同18.3%増）といずれも大幅に伸長しました。
- 2026年6月、ベルギーおよびオーストラリアにおいて、「レケンビ」を新発売しました。

＜イーストアジア・グローバルサウス医薬品事業＞

- 売上収益は202億円（前年同期比25.3%増）、セグメント利益は95億円（同15.0%増）となりました。
- 品目別売上収益については、「レンビマ」が52億円（前年同期比20.3%増）、「レケンビ」は24億円（同214.0%増）と大幅に伸長しました。アルツハイマー型認知症治療剤「アリセプト」は36億円（同4.0%減）となりました。
- 2026年6月、ブラジルおよびインドにおいて、「レケンビ」を新発売しました。

（2）財政状態に関する説明

〔資産、負債および資本の状況〕

- 資産合計は、1兆5,581億円（前期末より1,090億円増）となりました。売上収益の増加等により営業債権及びその他の債権が増加したほか、「レケンビ」等の生産を進めたことにより棚卸資産が増加しました。
- 負債合計は、6,249億円（前期末より1,009億円増）となりました。無担保社債の発行などにより、社債及び借入金が増加しました。
- 資本合計は、9,332億円（前期末より80億円増）となりました。為替の影響により在外営業活動体の換算差額が増加しました。
- 以上の結果、親会社所有者帰属持分比率は58.2%（前期末より3.9ポイント減）となりました。

〔キャッシュ・フローの状況〕

- 営業活動によるキャッシュ・フローは、26億円の支出（前年同期は11億円の収入）となりました。売掛金や「レケンビ」等の棚卸資産が増加したことにより、運転資本が増加しました。
- 投資活動によるキャッシュ・フローは、65億円の収入（前年同期は94億円の支出）となりました。主に金融資産の売却による収入によるものです。
- 財務活動によるキャッシュ・フローは、579億円の収入（前年同期より318億円の収入増）となりました。配当金の支払いを実施した一方で、社債および短期借入金が増加しました。
- 以上の結果、現金及び現金同等物の残高は3,117億円（前期末より663億円増）、営業活動によるキャッシュ・フローから資本的支出等を差し引いたフリー・キャッシュ・フローは40億円の収入となりました。

（3）研究開発・提携などに関する説明

〔開発品の状況〕

- 抗がん剤「レンビマ」（一般名：レンバチニブ、米メルク社との共同開発）
 - ・ 単剤療法として、甲状腺がんに係る適応および肝細胞がん（ファーストライン）に係る適応で、日本、米国、欧州、中国、アジア等において承認を取得しています。
 - ・ 単剤療法として、切除不能な胸腺がんに係る適応で、日本、アジアにおいて承認を取得しています。
 - ・ エベロリムスとの併用療法として、腎細胞がん（セカンドライン）に係る適応で、米国、欧州、アジア等において承認を取得しています。
 - ・ 米メルク社の抗PD-1抗体ペムブロリズマブとの併用療法として、腎細胞がん（ファーストライン）に係る適応、および子宮内膜がん（全身療法後）に係る適応で、日本、米国、欧州、アジア等において承認を取得しています。
 - ・ ペムブロリズマブとの併用療法として、肝細胞がん（肝動脈化学塞栓療法との併用）に係る適応で、中国において承認を取得しています。
 - ・ 米メルク社の経口低酸素誘導因子2アルファ（HIF-2 α ）阻害剤ベルズチファンとの併用療法について、進行腎細胞がんに係る適応で、日本および米国において申請中であり、米国のPDUFA（Prescription Drug User Fee Act）アクションデート（審査終了目標日）は2026年10月4日に設定されています。
 - ・ 2026年4月、ペムブロリズマブおよびベルズチファンとの3剤併用療法について、米メルク社が実施している進行腎細胞がん（ファーストライン）を対象とするフェーズⅢ試験の事前に設定された中間解析において、レンビマとペムブロリズマブの併用療法と比較して、主要評価項目である全生存期間と無増悪生存期間を達成しませんでした。
- AD治療剤「レケンビ」（一般名：レカナマブ、Biogen Inc.（米国）との共同開発）
 - ・ 早期ADに係る適応で、日本、米国、中国、欧州、アジアなどの53の国と地域で承認を取得し、6カ国

で申請中です。

- ・ 18カ月間の隔週投与による初期療法後の4週に1回の点滴静注維持療法について、米国、中国など8カ国で承認を取得し、欧州(EU)など12の国と地域で申請中です。
 - ・ 皮下注射オートインジェクター製剤(SC-AI)による維持療法(360mg、週1回投与)について、米国において承認を取得しています。
 - ・ 2026年7月、米国において、SC-AIによる初期療法(500mg、週1回投与)の承認を取得しました。日本、中国など4カ国において申請中です。中国では、優先審査の指定を受けています。
 - ・ Alzheimer's Clinical Trials Consortium (ACTC)とのパートナーシップのもと、プレクリニカル(無症状期)ADを対象とするAHEAD 3-45(フェーズⅢ試験)が日本、米国、欧州等において進行中です。
- 不眠症治療剤「デエビゴ」(一般名:レンボレキサント)
- ・ 不眠症に係る適応で、日本、米国、中国、アジア等において承認を取得しています。
 - ・ 2026年6月、英国において、「少なくとも3カ月以上症状が持続し、日中の機能に相当な影響を及ぼす成人の不眠症」の治療に係る販売承認申請が受理されました。
 - ・ 2026年7月、欧州(EU)において、「成人の慢性不眠症」に係る販売承認申請が受理されました。
- 2026年6月、抗がん剤タレトレクチニブ(一般名)について、英国において、進行性ROS1陽性非小細胞肺癌(NSCLC)に係る販売承認申請が受理されました。

[主な提携]

- 2026年6月、三菱UFJ信託銀行株式会社(東京都)と認知症の予防に向けた認知機能に関する情報提供の取り組みについて提携しました。
- 2026年6月、ユニバーシティ・カレッジ・ロンドンと神経変性疾患を対象とした創薬共同研究を2030年まで継続することに合意したことを発表しました。
- 2026年7月、ファイザー株式会社(東京都)が製造販売する片頭痛の予防(発症抑制)・治療薬「ナルテイクOD錠75mg」(一般名:リメゲパント)について、国内におけるコ・プロモーションを同年9月より開始することを発表しました。

[その他]

- 2026年5月、非営利団体であるCDP(英国)による「サプライヤー・エンゲージメント評価」において、最高評価の「サプライヤー・エンゲージメント・リーダー」に選定されました。本選定は昨年に続き2回目の選定となります。
- 2026年6月、成長投資に向けた資金調達の多様化を目的として、総額500億円の無担保社債を発行しました。
- 2026年6月、英国政府によるライフサイエンス革新的製造基金(Life Sciences Innovative Manufacturing Fund: LSIMF)の支援のもと、契約条件の最終合意を前提に、当社英国ハットフィールド工場において、レカネマブをはじめとする低温管理(コールドチェーン)を要する既存品および開発中の製品に対応する供給・包装体制の構築に向けた戦略的投資を実施することを決定しました。

(4) 業績予想などの将来予測情報に関する説明(2026年4月1日～2027年3月31日)

[連結業績予想]

○ 2026年5月15日に公表した連結業績予想から変更はありません。

	2025年度	2026年度予想	増減率
売上収益	8,254億円	8,835億円	+7.0%
営業利益	441億円	700億円	+58.6%
税引前当期利益	510億円	740億円	+45.1%
当期利益	405億円	540億円	+33.3%
親会社の所有者に帰属する当期利益	386億円	523億円	+35.6%
基本的1株当たり当期利益	136円78銭	185円00銭	+35.3%

コア営業利益	501億円	700億円	+39.8%
--------	-------	--------------	--------

(前提為替レート:1米ドル153.0円、1ユーロ180.0円、1英ポンド205.0円、1人民元22.5円)

[将来予想に関する事項と事業等のリスク]

本発表において提供される資料ならびに情報は、現在における予想、目標、評価、見通し、リスクを伴う想定などの不確実性に基づくものを含んでいます。従って、さまざまな要因の変化により、将来予想などが実際の結果と大きく乖離する可能性があります。リスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、各国の関税政策変更、金利、通貨為替変動といった日本および国際的な経済状況が含まれています。

当社グループの業績を大幅に変動させる、あるいは投資判断に重要な影響を及ぼす可能性のあるリスクや不確実性の詳細に関しては、当社の前期有価証券報告書の「事業等のリスク」をご参照ください。ただし、当該記載は当社グループに係るすべてのリスクや不確実性を網羅したものではなく、現時点において予見できない、あるいは重要とみなされていない他の要因の影響を将来的に受ける可能性があります。また、当該記載は本発表日現在において判断したものであり、文中の将来に関する事項はその発生あるいは達成を保証するものではありません。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結損益計算書

(単位:百万円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月 1日 至 2026年6月30日)	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月 1日 至 2025年6月30日)
売上収益	234,330	202,651
売上原価	△51,089	△42,600
売上総利益	183,241	160,051
販売費及び一般管理費	△114,827	△100,164
研究開発費	△43,713	△38,792
その他の収益	507	262
その他の費用	△479	△615
営業利益	24,728	20,744
金融収益	2,512	2,577
金融費用	△1,956	△916
税引前四半期利益	25,283	22,404
法人所得税	△6,132	△7,068
四半期利益	19,151	15,337
四半期利益の帰属		
親会社所有者	18,242	14,474
非支配持分	909	862
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	64.71	51.35
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	—	—

(2) 要約四半期連結包括利益計算書

(単位:百万円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月 1日 至 2026年6月30日)	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月 1日 至 2025年6月30日)
四半期利益	19,151	15,337
その他の包括利益		
損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定する金融資産	△2,331	3,036
小計	△2,331	3,036
損益にその後に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	14,381	△7,293
キャッシュ・フロー・ヘッジ	△24	△12
小計	14,356	△7,305
その他の包括利益合計	12,025	△4,270
四半期包括利益	31,177	11,067
四半期包括利益の帰属		
親会社所有者	30,262	10,214
非支配持分	915	853

(3) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位:百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (2026年6月30日)	前連結会計年度末 (2026年3月31日)
資産		
非流動資産		
有形固定資産	159,726	161,042
のれん	263,151	259,200
無形資産	85,624	88,125
その他の金融資産	50,207	62,412
その他	8,609	8,658
繰延税金資産	107,760	108,039
非流動資産合計	675,078	687,477
流動資産		
棚卸資産	282,008	257,547
営業債権及びその他の債権	253,125	227,002
その他の金融資産	1,576	892
その他	34,565	30,773
現金及び現金同等物	311,739	245,423
流動資産合計	883,013	761,637
資産合計	1,558,091	1,449,113

（単位：百万円）

	当第1四半期連結会計期間末 (2026年6月30日)	前連結会計年度末 (2026年3月31日)
資本		
親会社の所有者に帰属する持分		
資本金	44,986	44,986
資本剰余金	74,188	74,307
自己株式	△42,290	△42,288
利益剰余金	504,261	510,919
その他の資本の構成要素	325,419	311,068
親会社の所有者に帰属する持分合計	906,564	898,992
非支配持分	26,606	26,131
資本合計	933,169	925,124
負債		
非流動負債		
社債及び借入金	184,604	134,777
その他の金融負債	33,595	33,806
引当金	1,579	1,584
その他	9,527	11,887
繰延税金負債	1,974	1,682
非流動負債合計	231,279	183,736
流動負債		
社債及び借入金	86,738	51,304
営業債務及びその他の債務	87,531	75,892
その他の金融負債	22,106	16,264
未払法人所得税	6,212	6,672
引当金	51,877	46,632
その他	139,178	143,489
流動負債合計	393,642	340,254
負債合計	624,922	523,990
資本及び負債合計	1,558,091	1,449,113

(4) 要約四半期連結持分変動計算書

当第1四半期連結累計期間（自 2026年4月1日 至 2026年6月30日）

（単位：百万円）

	親会社の所有者に帰属する持分				その他の資本 の構成要素
	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の包括 利益を通じて 公正価値で測定 する金融資産
期首残高 (2026年4月1日)	44,986	74,307	△42,288	510,919	—
四半期利益	—	—	—	18,242	—
その他の包括利益合計	—	—	—	—	△2,331
四半期包括利益	—	—	—	18,242	△2,331
剰余金の配当	—	—	—	△22,569	—
自己株式の取得	—	—	△2	—	—
支配継続子会社に対す る持分変動	—	△119	—	—	—
振替	—	—	—	△2,331	2,331
所有者との取引額等合計	—	△119	△2	△24,900	2,331
期末残高 (2026年6月30日)	44,986	74,188	△42,290	504,261	—

	親会社の所有者に帰属する持分					
	その他の資本の構成要素			親会社の 所有者に帰属 する持分合計	非支配持分	資本合計
	在外営業 活動体の 換算差額	キャッシュ・ フロー・ ヘッジ	その他の資本 の構成要素 合計			
期首残高 (2026年4月1日)	311,029	40	311,068	898,992	26,131	925,124
四半期利益	—	—	—	18,242	909	19,151
その他の包括利益合計	14,375	△24	12,020	12,020	6	12,025
四半期包括利益	14,375	△24	12,020	30,262	915	31,177
剰余金の配当	—	—	—	△22,569	△560	△23,129
自己株式の取得	—	—	—	△2	—	△2
支配継続子会社に対す る持分変動	—	—	—	△119	119	—
振替	—	—	2,331	—	—	—
所有者との取引額等合計	—	—	2,331	△22,690	△440	△23,131
期末残高 (2026年6月30日)	325,404	15	325,419	906,564	26,606	933,169

前第1四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年6月30日）

（単位：百万円）

	親会社の所有者に帰属する持分				その他の資本 の構成要素
	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の包括 利益を通じて 公正価値で測定 する金融資産
期首残高 (2025年4月1日)	44,986	74,843	△42,294	511,917	—
四半期利益	—	—	—	14,474	—
その他の包括利益合計	—	—	—	—	3,036
四半期包括利益	—	—	—	14,474	3,036
剰余金の配当	—	—	—	△22,569	—
自己株式の取得	—	—	△3	—	—
自己株式の処分	—	△0	0	—	—
子会社の取得	—	—	—	—	—
支配継続子会社に対す る持分変動	—	△552	—	—	—
振替	—	—	—	3,036	△3,036
所有者との取引額等合計	—	△552	△3	△19,534	△3,036
期末残高 (2025年6月30日)	44,986	74,291	△42,297	506,858	—

	親会社の所有者に帰属する持分				非支配持分	資本合計
	その他の資本の構成要素			親会社の 所有者に帰属 する持分合計		
	在外営業 活動体の 換算差額	キャッシュ・ フロー・ ヘッジ	その他の資本 の構成要素 合計			
期首残高 (2025年4月1日)	251,796	169	251,965	841,417	24,551	865,968
四半期利益	—	—	—	14,474	862	15,337
その他の包括利益合計	△7,283	△12	△4,260	△4,260	△10	△4,270
四半期包括利益	△7,283	△12	△4,260	10,214	853	11,067
剰余金の配当	—	—	—	△22,569	△513	△23,083
自己株式の取得	—	—	—	△3	—	△3
自己株式の処分	—	—	—	0	—	0
子会社の取得	—	—	—	—	179	179
支配継続子会社に対す る持分変動	—	—	—	△552	△44	△596
振替	—	—	△3,036	—	—	—
所有者との取引額等合計	—	—	△3,036	△23,124	△379	△23,503
期末残高 (2025年6月30日)	244,512	157	244,669	828,507	25,025	853,532

(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月 1日 至 2026年6月30日)	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月 1日 至 2025年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	25,283	22,404
減価償却費及び償却費	9,420	9,697
減損損失	—	1,309
運転資本の増減額(△は増加)	△29,725	△25,972
利息及び配当金の受取額	1,965	2,102
利息の支払額	△1,214	△879
法人所得税の支払額	△6,741	△4,331
その他	△1,575	△3,236
営業活動によるキャッシュ・フロー	△2,588	1,094
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△4,259	△4,534
無形資産の取得による支出	△963	△2,597
有形固定資産・無形資産の売却による収入	1,906	113
子会社の取得による支出	—	△12,584
金融資産の取得による支出	△974	△196
金融資産の売却・償還による収入	10,909	10,473
3カ月超預金の預入による支出	—	△1
3カ月超預金の払戻による収入	—	0
その他	△161	△44
投資活動によるキャッシュ・フロー	6,457	△9,369
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額(△は減少)	34,010	51,677
社債の発行及び長期借入れによる収入	50,000	—
社債の償還及び長期借入金の返済	△2	△2
リース負債の返済による支出	△2,764	△2,585
配当金の支払額	△22,569	△22,569
その他	△750	△425
財務活動によるキャッシュ・フロー	57,925	26,095
現金及び現金同等物に係る換算差額	4,522	2,000
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	66,316	19,819
現金及び現金同等物の期首残高	245,423	265,561
現金及び現金同等物の期末残高	311,739	285,380

(6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（会計方針の変更）

当要約四半期連結財務諸表において適用する重要性のある会計方針は、以下の基準書及び解釈指針を除き、前連結会計年度に係る連結財務諸表において適用した会計方針と同一です。当社グループが、当該基準書及び解釈指針を適用したことによる、当要約四半期連結財務諸表への重要な影響はありません。

基準書及び解釈指針		強制適用開始時期 (以降開始年度)	当社グループ 適用開始時期	概要
IFRS7号	金融商品：開示	2026年1月1日	2027年3月期	・ 自然依存電力の契約に関する会計処理及び開示の明確化 ・ ESG並びに類似の要素を含んだ金融資産の分類の明確化
IFRS9号	金融商品			

（セグメント情報）

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、トップマネジメントが定期的に検討を行う対象となっているものです。

当社グループは、セグメントを医薬品事業とその他事業に区分しており、医薬品事業を構成する日本、アメリカス（北米）、中国、EMEA（欧州、中東、アフリカ、ロシア、オセアニア）、イーストアジア・グローバルサウス（韓国、台湾、インド、アセアン、中南米、南アフリカ等）の5つの事業セグメントを報告セグメントとしています。

（単位：百万円）

	当第1四半期連結累計期間 （自 2026年4月 1日 至 2026年6月30日）		前第1四半期連結累計期間 （自 2025年4月 1日 至 2025年6月30日）	
	売上収益	セグメント利益	売上収益	セグメント利益
医薬品事業				
日本	57,940	21,032	56,048	19,448
アメリカス	86,576	51,936	70,801	41,540
中国	42,527	21,178	36,461	17,917
EMEA	23,646	12,451	19,007	8,200
イーストアジア・グローバルサウス	20,212	9,481	16,130	8,241
報告セグメント計	230,901	116,079	198,448	95,347
その他事業(注1)	3,429	1,251	4,203	2,234
事業計	234,330	117,330	202,651	97,581
研究開発費(注2)	—	△38,883	—	△34,239
親会社の本社管理費等(注3)	—	△53,719	—	△42,598
要約四半期連結損益計算書の営業利益	—	24,728	—	20,744

(注1) その他事業は、親会社のライセンス収入及び医薬品原料などに係る事業です。

(注2) 研究開発費は、各報告セグメントに反映したメディカル活動に伴う費用を除いた研究開発費です。

(注3) 親会社の本社管理費等は、当社グループ全体の運営に係る費用等であり、その他の収益及び費用ならびにパートナーとの戦略的提携に伴う利益及び費用の折半金額を含めています。当第1四半期連結累計期間の親会社の本社管理費等には、当社グループがMerck & Co., Inc., Rahway, NJ, USA(以下、「米メルク社」という。)に支払う抗がん剤「レンビマ」の折半利益44,252百万円(前第1四半期連結累計期間は36,022百万円)を含めています。

（連結損益計算書）

（1）販売費及び一般管理費

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが米メルク社に支払う抗がん剤「レンビマ」の折半利益44,252百万円(前第1四半期連結累計期間は36,022百万円)を販売費及び一般管理費に計上しています。

（連結キャッシュ・フロー計算書）

（1）子会社の取得による支出

前第1四半期連結累計期間における子会社の取得による支出12,584百万円は、当社がエコナビスタ株式会社（東京都）の株式を取得したことによる支出です。

（重要な後発事象）

該当事項はありません。